

令和2年度 公益財団法人長野市スポーツ協会事業報告書

1 競技水準向上事業

全国大会等出場レベルの選手の育成を図るため、加盟団体が行うジュニア層を始めとする競技水準向上のために実施する日常練習や強化合宿（練習）等に要する経費の一部を補助する等の支援を行った。

(1) 選手育成事業（ジュニア特別対策含む）

全国大会等出場レベルの選手の育成を強化するため、ジュニア層を始めとする競技水準向上のために実施する日常練習や強化合宿（練習）等に要する経費の一部を補助した。

8団体：陸上、スキー、バレーボール、体操、ソフトテニス、サッカー、
アイスホッケー、エアロビック

(2) 指導者等育成事業

優秀な指導者等を養成するため、日本スポーツ協会及び加盟団体公認のスポーツ指導者資格及び審判員資格取得に要する経費及び各種研修会等への参加に要する経費の一部を補助した。

5団体：スキー、馬術、アイスホッケー、ゲートボール、エアロビック

(3) 優秀選手・指導者等招へい事業

競技水準の向上及びスポーツの普及を図るため、国際大会や全国大会への出場経験を持つ優れた選手、チーム又は指導者等による実技指導、模範演技及び交流試合等の開催に要する経費の一部を補助した。

4団体：スキー、ソフトテニス、馬術、アイスホッケー

※新型コロナウイルス感染予防のため、2団体で中止。

(4) 選手強化競技用具整備事業

加盟団体が推進する競技水準向上事業等において、必要な競技用機械器具の購入に要する経費の一部を補助した。

4団体：体操、馬術、弓道、エアロビック

(5) ジュニアスケート優秀選手強化事業

長野市で継続開催している全国中学校スケート大会を捉え、地元ジュニアスケート選手の技術力向上及び強化を図る。強化に当たっては、長野市スケート協会が実施する競技水準向上事業に対し、ジュニアスケート選手強化対策事業補助金規程に基づき経費の一部を補助した。

(6) 国体選手等壮行会開催事業

新型コロナウイルス感染予防のため、中止とした。

2 全国大会等出場選手強化基本構想プログラム

基本構想プログラムは、5つのプロジェクトから構成されており、本プログラムの実施により、全国大会等へ出場し、活躍する選手の強化育成支援を通して、長野市で生まれ育った多くのトップアスリートを輩出し、選手の活躍がもたらすスポーツの魅力、スポーツの力が、長野市のスポーツ振興に寄与し、ひいては明るく元気なまちづくりに繋がることを期待するものである。

しかしながら、本協会のみでの活動では競技水準の向上、トップアスリートの育成を果たすことは難しく、県、国などの関係機関が実施する同様の事業と連携・協働する中で、本協会が果たす役割を常に見直しながら実施した。

(1) プロジェクトA「全国大会等出場選手強化事業補助金」

“全国大会等出場選手強化事業補助金交付規程”に基づき交付する補助金により、加盟団体が実施する競技水準向上事業に対し助成した。

8団体：陸上、水泳、スキー、スケート、バドミントン、弓道、アイスホッケー、
エアロビック

※新型コロナウイルス感染予防のため、3団体で中止。

(2) プロジェクトB「練習等環境支援」

強化指定選手、強化指定チーム及び強化認定指導者が競技水準の向上のため使用する

スポーツ施設の確保調整及び使用料（利用料）を助成した。

3施設：長野運動公園、エムウェーブ、ビッグハット

6団体：陸上、水泳、スケート、卓球、弓道、アイスホッケー

(3) プロジェクトC「指導者養成支援」

強化認定指導者がスキルアップのため参加する研修会等の旅費を補助する。

《実績なし》

(4) プロジェクトD「スキルアップ研修会等開催」

強化指定選手、強化指定チーム及び強化認定指導者のスキルアップを目的に、各種専門研修を開催した。

【スポーツ・インテグリティ研修会】

9月14日(月) 長野市ふれあい福祉センター5階ホール 参加者約56人

講師：武藤芳照氏

(一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構 代表理事、東京大学名誉教授)

上柳敏郎氏

(一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構 副代表理事、弁護士)

演題：『スポーツの価値と信頼を守るために—コンプライアンス教育の理念と実践—』

『スポーツ・コンプライアンスとインテグリティをめぐる法律とその活かし方』

※新型コロナウイルス感染予防のため、会場の収容人数上限（100席）の半分で実施

【スキルアップ研修会】

10月29日(木) 長野市芸術館3Fアクトスペース 参加者約92人

講師：寺川綾氏（ミズノ株式会社）

演題：『夢に向かって～水泳から学んだもの～』

※新型コロナウイルス感染予防のため、会場の収容人数上限（200席）の半分で実施

(5) プロジェクトE「全国大会等出場レベルの選手育成強化」

競技水準向上事業の選手育成事業に位置付け、補助した。

8団体：陸上、スキー、バレーボール、体操、ソフトテニス、サッカー、アイスホッケー、エアロビック

3 スポーツ普及・交流事業

<地域スポーツ推進事業>

市民のスポーツ活動を奨励するために加盟団体が行う、スポーツの普及及び選手育成を目的とした、各種スポーツイベント、スポーツ教室の開催、及び補給消耗品整備等に要する経費の一部を補助した。

(1) 市民スポーツイベント開催事業

各種スポーツイベントの開催に要する経費の一部を補助した。

17団体：スキー、バレーボール、スケート、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、ソフトボール、ラグビー、アイスホッケー、バウンドテニス、ゲートボール、カーリング、ドッジボール、障害者スポーツ、エアロビ、グラウンド・ゴルフ

(2) 市民スポーツ教室開催事業

各種スポーツ教室の開催に要する経費の一部を補助した。

6団体：陸上、スキー、ソフトテニス、馬術、ゲートボール、エアロビック

(3) 国体県予選会補助事業

新型コロナウイルス感染予防のため、中止とした。

(4) 補給消耗品整備事業

所要の消耗品の購入に要する経費の一部を補助した。

18団体：スキー、バレーボール、体操、バスケットボール、スケート、ソフトテニス、軟式野球、馬術、弓道、剣道、グライダー、アイスホッケー、バウンドテニス、ゲートボール、カーリング、ドッジボール、ダンススポーツ、アメリカンフットボール

(5) 競技団体運営強化事業

加盟団体の運営・組織強化と、活動の促進を図ることを目的として交付した。
35 団体

<スポーツ普及・支援事業>

市民の体力向上、スポーツの底辺の拡大と振興を図るために次の事業を行った。

(6) スポーツ教室・大会支援事業

加盟団体が主催する教室及び大会について、長野市の広報紙への掲載手続きや施設事前予約、名義後援等の支援を行った。

(7) 国際大会・国体出場激励金支給事業

国際大会や国体等に出場する選手等に対し、激励金を支給した。

国際大会：1 競技 1 名

国体等：国体は中止・冬季大会 7 人(選手・監督)

(8) スポーツ功績者表彰事業

スポーツの振興、競技力の向上に功績のあった者や競技会等において、特に優秀な成績を収めた選手、監督、コーチ及び指導者を表彰し、スポーツの振興を図った。

功労 1 人、栄光 44 人

(9) 機関誌発行及びその他の広報活動事業

スポーツの普及啓発を図るため、加盟団体やスポーツ少年団の活動の紹介等を掲載した、広報「スポーツナガノ 35・36 号」を発行した。また、ホームページの更新及び充実を図り、加盟団体並びに市民に対しスポーツ情報を発信した。

<スポーツ少年団育成事業>

(10) スポーツ少年団育成事業

スポーツ活動を通して、青少年の心身の健全な発達を目的としたスポーツ少年団を育成するとともに、団相互の親睦を図る。また、スポーツ少年団に必要な指導者育成のための事業を推進した。

市内の保育園、幼稚園及び小学校に対し、スポーツ少年団チラシを配布し、また、地域密着型プロスポーツチームとの交流を図り、スポーツの素晴らしさを伝えるとともに、新規加盟に努めた。

県競技別交流大会北信地区交流大会については、新型コロナウイルス感染予防のため、中止とした。

H29 年度登録 28 団

H30 年度登録 28 団

R 1 年度登録 28 団

R 2 年度登録 28 団

4 自主財源の確保

事業の充実のため、法人及び個人の賛助会員の増加を図るなど、自主財源の確保に努めた。

平成 29 年度賛助会員：個人 61 人、法人 94 社、加盟団体 31 団体

平成 30 年度賛助会員：個人 78 人、法人 90 社、加盟団体 31 団体

令和元年度賛助会費：個人 74 人、法人 91 社、加盟団体 34 団体

令和 2 年度賛助会費：個人 142 人、法人 94 社、加盟団体 31 団体